

[地中海東岸の民族]

〈今回のポイント〉

アラム人…

フェニキア人…

ヘブライ人…

東地中海世界は海と砂漠に囲まれていて、統一王国は形成しづらい。

その一方で、交易や文化の面で活路を見出した民族が出現する。

紀元前 14 世紀～15 世紀…カナーン人が栄え、アルファベットの原型を作る。

紀元前 1200 年頃…海の民がヒッタイトとエジプトの力を弱める。

〈アラム人〉：セム語系 都…ダマスクス

・ダマスクスを中心に小国家を形成。

→紀元前 1200 年頃…内陸貿易の担い手として活躍。

・彼らが用いたアラム語は全オリエントの公用語になる。

フェニキア文字から発展したアラム文字は次第に東へ伝播した。

〈フェニキア人〉：セム語系

・地中海沿岸に、シドンやティルスなどの都市国家を形成。

→紀元前 1200 年頃…ミケーネ文明に代わって地中海貿易を独占。

→ティルスは紀元前 9 世紀末に北アフリカに植民市カルタゴを建設。

・シナイ文字(エジプト象形文字から発達した文字)をもとにフェニキア文字を作成。

→フェニキア文字はのちギリシアに伝わって、現在のアルファベットのもとになる

〈ヘブライ人〉：セム語系 のちにイスラエル人・ユダヤ人とも呼ばれる。

前 1500 年頃…地中海東岸のパレスチナへ移住。カナーン人を服属させる。
→その後、一部はエジプトに移住するが厳しい扱いを受ける。
→前 13 世紀頃、預言者モーセに率いられて、エジプトを脱出：出エジプト
→シナイ山で、唯一神ヤハウェからモーセは十戒を授かる。

パレスチナに戻ったヘブライ人は王国(ヘブライ王国)を建てる。
→2代：ダヴィデ王、3代：ソロモン王の時に全盛期を迎えるがその後二つに分裂…
→北をイスラエル王国、南をユダ王国と呼ぶ。
⇒前 8 世紀末…北のイスラエル王国はアッシリアに征服される。
⇒前 586 年…南のユダ王国は新バビロニアに滅ぼされ、住民の多くはバビロンに強制移住
させられた：バビロン捕囚
→前 6 世紀後半…アケメネス朝ペルシアのキュロス 2 世がユダヤ人をバビロンから解放。
→以後、ヤハウェ信仰の正しさを実感し、ユダヤ教が成立する

〈ユダヤ教の成立〉…十戒を中心とした律法をもとにユダヤ教が成立する。

- ・ヤハウェを唯一神とする一神教。
- ・偶像崇拝の禁止。
- ・この世の終わりに神が審判を行う：最後の審判思想…ゾロアスター教の影響
- ・律法を遵守するユダヤ人のみが救われる。：選民思想
- ・民族を破滅から救う救世主(メシア)への信仰
- ・聖典は『旧約聖書』：キリスト教の新約に対する呼び名。ヘブライ語ではミフラー